

# 平成27年度一般会計予算執行状況(上半期) (9月末現在) 越谷市の財政状況をお知らせします

問 財政課 ☎963-9115

一般会計は、越谷市の行政運営の基本的な経費を中心に計上されたものです。平成27年度の予算額は936億1,049万円です(当初予算額は899億円で、9月補正予算および繰越事業を含みます)。

歳入の内訳は図1のとおりです。主なものは、市民税、固定資産税などの市税で447億6,100万円、全体の47.8%を占めています。上半期の歳入予

算の執行状況は、9月末日現在476億2,116万円、全体の50.9%の執行率となっています。

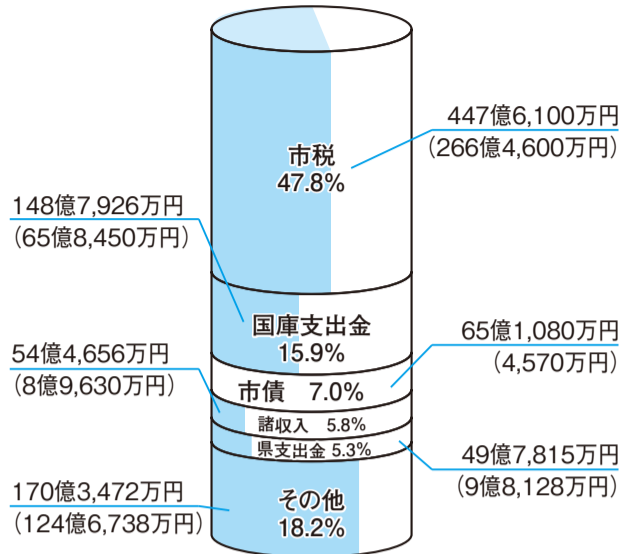
歳出の内訳は図2のとおりです。主なものは、障がい者福祉・高齢者福祉・児童福祉・生

活保護などに充てられる民生費が392億3,778万円、全体の41.9%となっています。

次いで、保健衛生、環境衛生、公害対策、ごみ・し尿処理などに充てられる衛生費が104億7,928万円、全体の11.8%となっています。上半期の歳出予算の執行状況は389億5,418万円、全体の41.6%の執行率となっています。

### 図1 歳入

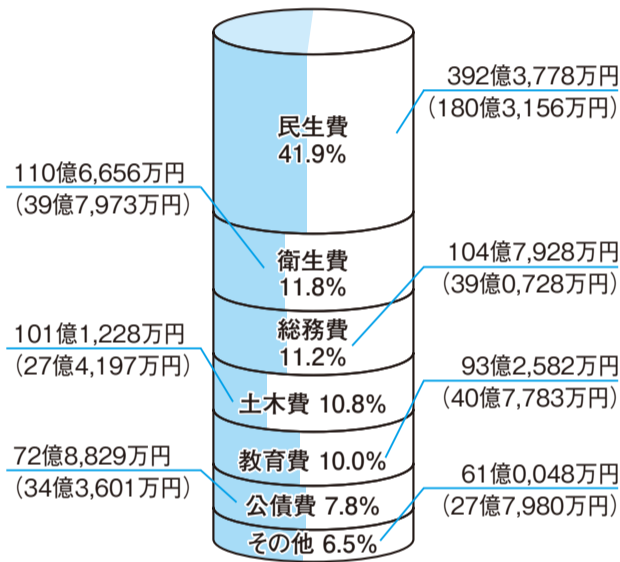
予算額 936億1,049万円  
収入済額 476億2,116万円



\*パーセントは予算の構成比  
\*カッコ内は執行済額  
\*は執行状況

### 図2 歳出

予算額 936億1,049万円  
支出済額 389億5,418万円



## 入学準備金をお貸しします

因貸付額は、高校等50万円以内、大学等80万円以内。返済は卒業後6カ月据え置き、5年以内の年賦または半年賦返済。無利子 因平成28年4月に高校や大学等に入学予定のお子さんの保護者で、入学資金にお困りの市内在住の方(合格発表前の申請可)。所得制限あり。連帯保証人(市内

に一年以上居住し、申請者と同じ住所でない、市民税の所得割が課税されているなど債務を担保できる20歳以上の方1人)が必要。因28年1月5日(火)〜25日(月)に貸付申請書、家庭調書、在学または出身校の学校長の推薦書(すべて指定用紙)を直接教育総務課(第二庁舎4階)へ。申請書等は教育総務課で配布 問 教育総務課 ☎963-9115

## 臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金の申請はお済みですか?

申請受付期間は  
平成28年1月29日(金)までです

平成28年1月29日(金)まで臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金の申請を受け付けています(消印有効)。

申請受付期間を過ぎると受け付けできなくなりますので、ご注意ください。

申請関係書類が届いていない方で、給付金の対象と思われる方は福祉・子育て臨時給付金室へお問い合わせください。

問 福祉・子育て臨時給付金室 (本庁舎1階) ☎963-9194

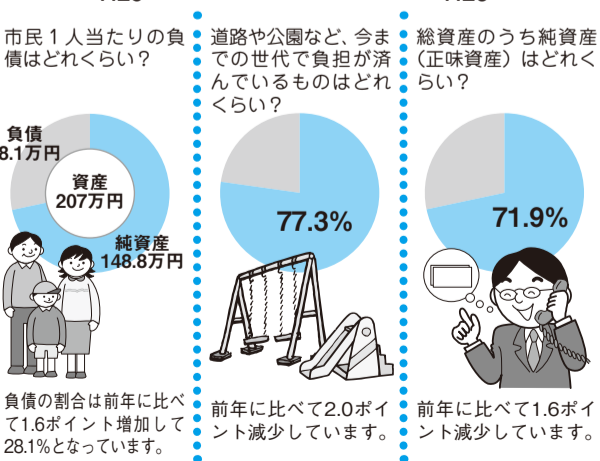
## 貸借対照表(バランスシート)

平成26年度末時点において、越谷市単体および第三セクター等を含めた連結ベースで市の資産がどれだけあり、その資産をどのような財源(負債・純資産)でまかなってきたかを一目で分かるようにしたものです。左側に「資産」を表示し、右側に「負債」および資産と負債の差額である「純資産」を計上しています。(単位:百万円)

資産	692,696	負債	194,560
現在、市が保有している財産の総額です。		次世代が負担する借入金(市債)など、将来返済する必要のある債務です。	
【主な内訳】		純資産	498,136
金融資産	48,494	これまでの世代がすでに負担をし、次世代へ引き継ぐ正味財産の総額です。	
現金・預金・未収金・有価証券・基金など(うち現金・預金 16,368)			
固定資産	644,202		
庁舎・学校・道路・公園・上下水道など			

貸借対照表を昨年と比べてみると・・・ ( )内は市民1人あたりの金額

資産	1,811.3億円 (54.4万円)	負債	1,945.6億円 (58.1万円)
6,828.9億円 (205.2万円)		純資産	4,981.4億円 (148.8万円)
		5,017.7億円 (150.8万円)	



## 行政コスト計算書

経常的な活動に伴うコストと使用料・手数料等の収入を示すものです。経常費用合計から経常収益合計を差し引いたものが当該年度の純経常行政コストとなります。

経常費用	171,240	163,308
1年間に提供された行政サービス(資産形成に使ったものは除く)に要したすべての費用です。		
人にかかるコスト	24,700	22,450
物にかかるコスト	19,327	18,307
業務にかかるコスト	64,043	61,959
移転支出的なコスト	63,170	60,592
経常収益	34,114	31,681
行政サービスの利用で、市民の皆さんが負担する使用料・手数料などです(市税は含まれません)。		
純経常行政コスト	137,126	131,627
経常費用から経常収益を差し引いた純粋なコストです。		

\*経常費用は前年に比べ約79億円増加し、経常収益は前年に比べ約24億円増加しています

## 資金収支計算書(キャッシュフロー計算書)

現金の流れを示すものです。市がどのような活動に資金を必要としているのかを示しています。

期首資金残高	17,085	17,684
1 経常的収支	20,820	20,742
2 公共資産整備収支	△14,799	△14,439
3 財務的収支	△6,738	△6,902
当期収支	△717	△599
期末資金残高	16,368	17,085
期首資金残高に26年度収支を加えたもので、26年度末の資金額のこと。		

## 越谷市の財務書類を作成しました 市民1人あたりの資産 207・0万円、負債58・1万円

市民の皆さんに市の財政状況をより理解していただくため、財務書類を作成・公表しています。

これにより、市が保有するすべての資産と負債が把握できるほか、資産を将来世代の負担と

現在までの世代の負担でどのように作り上げてきたかが明確にわかります(国が推奨する「新地方公会計制度 基準モデル」に基づいて、市や土地開発公社、第三セクターなどの関連団体も含めた連結ベースで表示

たものです)。

財務書類は、貸借対照表、行政コスト計算書、資金収支計算書、純資産変動計算書の4つで構成されています。

広報では平成26年度の決算を基に作成した財務書類の一部をお知らせします。詳しくは「越谷市のざいせい状況(平成27年度上半期)」をご覧ください(市ホームページまたは各地区センターでご覧になれます)。

問 財政課 ☎963-9115